

令和4年10月25日

議決すべき計画に関する特別委員会

案件：四條畷市個別施設計画【公共施設】（令和4年10月改訂版）

目次

1. はじめにP.1

2. 15施設のあり方検討にあたっての整理・前提事項 ...P.3

- (1) 四條畷市個別施設計画【公共施設】
- (2) 関係計画との整合・連携
 - 四條畷市公共施設等総合管理計画
 - (参考) 四條畷市学校再編整備計画
- (3) 四條畷市公共施設再編検討会からの提言

3. 今後のスケジュールについて.....P.13

《参考資料》P.16

- (1) 各施設の再編に関する提言（公共施設再編検討会）
- (2) 検討対象施設の諸元情報一覧
- (3) 資料請求一覧

1.はじめに

はじめに

第7回議決すべき計画に関する特別委員会から、四條畷市個別施設計画【公共施設】（令和4年10月改訂版）（以下『計画』という。）をもとに、今後のあり方を継続検討としている15施設について、具体的な調査・研究を進めていくこととなりました。

検討対象施設

■ 建築物系施設

No.	施設名
①	市民総合センター
②	教育文化センター
③	歴史民俗資料館
④	市民活動センター
⑤	忍ヶ丘あおぞらこども園
⑥	老人福祉センター楠風荘
⑦	保健センター
⑧	四條畷市シルバー人材センター
⑨	福祉コミュニティーセンター
⑩	市庁舎
⑪	グリーンホール田原
⑫	四條畷南中学校跡地

■ 建築物を有さない施設

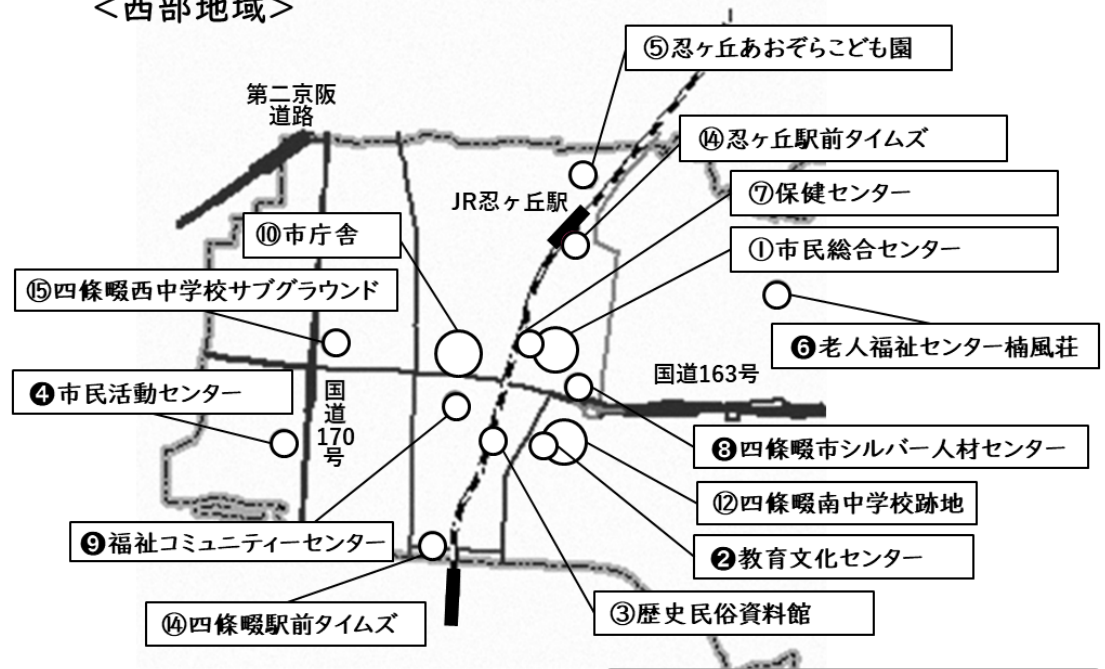
No.	施設名
⑬	四條畷駅前タイムズ①
⑭	忍ヶ丘駅前タイムズ
⑮	四條畷西中学校サブグラウンド

凡例

黒丸白抜き文字は、非耐震施設（旧耐震基準の建築物のうち、耐震化未実施の施設又は耐震性が確認できていない施設。）

施設の配置状況

<西部地域>



<東部地域>

⑪ グリーンホール田原

本日の特別委員会は、15施設の今後のあり方を調査・研究する初回の会議にあたることから、計画に掲げる整備方針や対象施設に関する情報など、15施設のあり方検討にあたっての整理・前提事項を共有し、委員各位のご意見等をお聞かせいただきたいと考えています。

2.15施設のあり方検討にあたっての整理・前提事項

- (1) 四條畷市個別施設計画【公共施設】
- (2) 関係計画との整合・連携
 - 四條畷市公共施設等総合管理計画
 - (参考) 四條畷市学校再編整備計画
- (3) 四條畷市公共施設再編検討会からの提言

(1) 四條畷市個別施設計画【公共施設】

(令和2年1月策定/令和4年10月改訂)

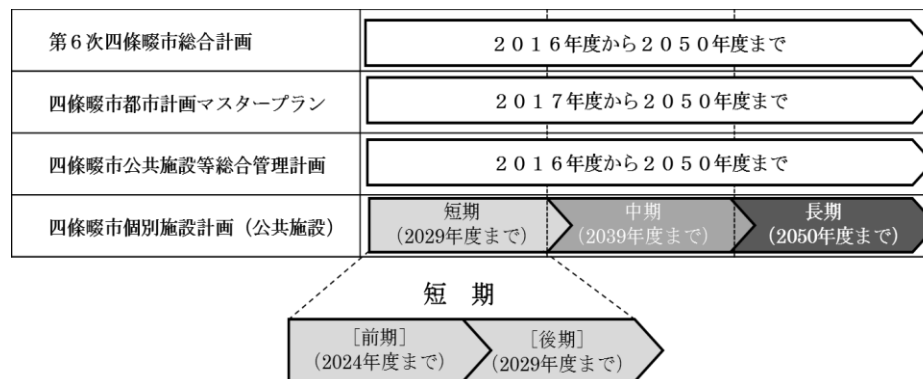
目的

- ◆ 「**四條畷市公共施設等総合管理計画***」に基づく**施設ごとの具体的な取組方針**や整備計画方針として整理。
- ◆ 市民ニーズ等の変化を踏まえつつ、**施設総量（総床面積）の最適化**やコンパクトな市域に見合う**施設の再配置**の実現を図るため、長期的な視点をもって、公共施設の更新、統廃合、複合化等の方向性を定める。
- ◆ 施設の**質と量**、コストの最適化に取り組み、将来的な財政負担の縮減と平準化をはかることで、**持続可能な行政運営**を行う。

※四條畷市公共施設等総合管理計画策定に係る特別委員会での審議を経た後に策定。

計画期間

- 計画期間は、上位計画である公共施設等総合管理計画と同様に2050年度までとしています。
- 「短期（10年以内）」、「中期（11年～20年以内）」、「長期（21年以上）」の3つの期間に区分。
- **特に緊急性の高い事業を短期[前期]に実施します。**



(1) 四條畷市個別施設計画【公共施設】

(令和2年1月策定/令和4年10月改訂)

議会や市民との合意形成

本計画の対象は広範囲にわたり施設を利用している市民にとっては影響が大きい取組となることもあります。このため、計画の改訂などを行っていくうえでは、学識経験者や地域及び団体等の代表者などで構成する会議体で議論を経たうえで、以下の考えのもとで議会や市民との対話の機会を設けるなど、合意形成を図りながら取組を進めていくものとしします。

(1) 客観的な情報を公開する

本計画を進める過程において、客観性を持った説明となるよう、必要なデータを整備します。また、策定プロセスの必要十分な情報をホームページに掲載するなど、情報の公開を進め、透明性の確保を図ります。

(2) 議会や市民とともに考える

広報誌、ホームページへの掲載、出前講座の実施など、公共施設が抱える課題を議会や市民に知らせ、今後の公共施設のあり方を共に考えていきます。また、この際には、わかりやすい情報を提供できるように努めていきます。

(3) 段階的に合意形成を進める

計画の見直し時点において、常に最適な再編内容を検討するとともに、段階を追って丁寧に合意形成を得ていくこととします。なお、建物の老朽化が著しい施設で早急な対応が必要な場合などは、長期的な計画とは切り離れた短期的な取組として実施していくものとしします。

(1) 四條畷市個別施設計画【公共施設】

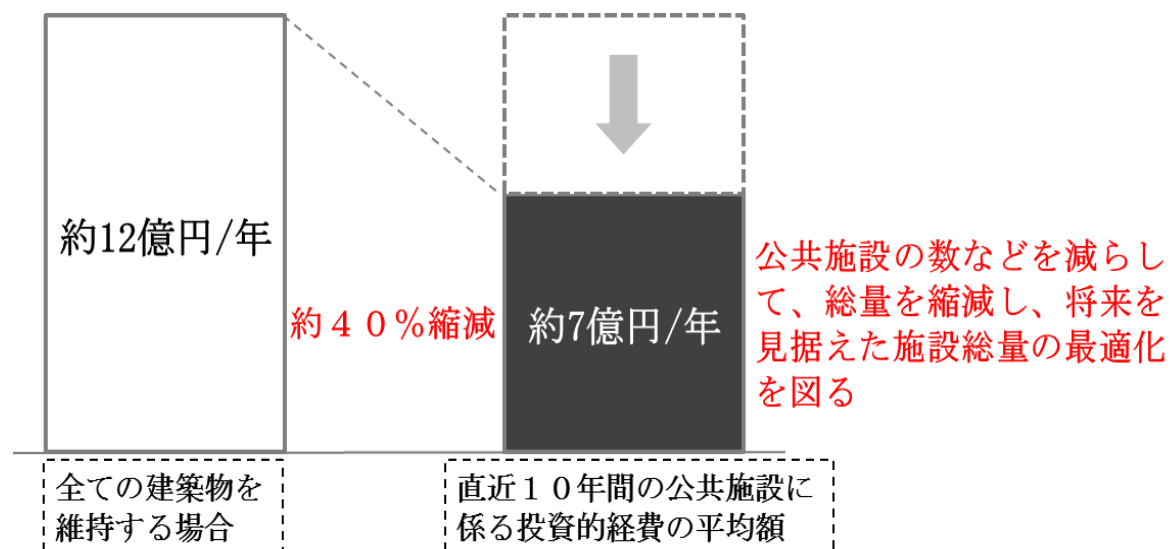
(令和2年1月策定/令和4年10月改訂)

目 標 値

直近10年間(平成20年度～平成29年度)の公共施設にかかる投資的経費の年間平均額は約7億円となっています。

本市人口ビジョンによる人口推移を前提条件に置いて作成した財政収支見通しにおいては、歳入では生産年齢人口の減少とともに税収が減少し、歳出でも少子高齢化の影響により扶助費が増加するなどの厳しい状況であると予測しています。

このことから、投資的経費を直近10年間と同程度の年間約7億円以内に抑制すべきとの考えにより、約40%の費用抑制を図ることとし、この率を目標値と定め、再編を進めるものとします。



総延床面積を減少させることで、施設を維持するために必要となる人件費、光熱水費、清掃等委託料、修繕料などのランニングコストの抑制にも繋がるため、より一層の効率化が図れることとなり、この効果を他のソフト事業にかかる予算に使用することが可能となります。

(1) 四條畷市個別施設計画【公共施設】

(令和2年1月策定/令和4年10月改訂)

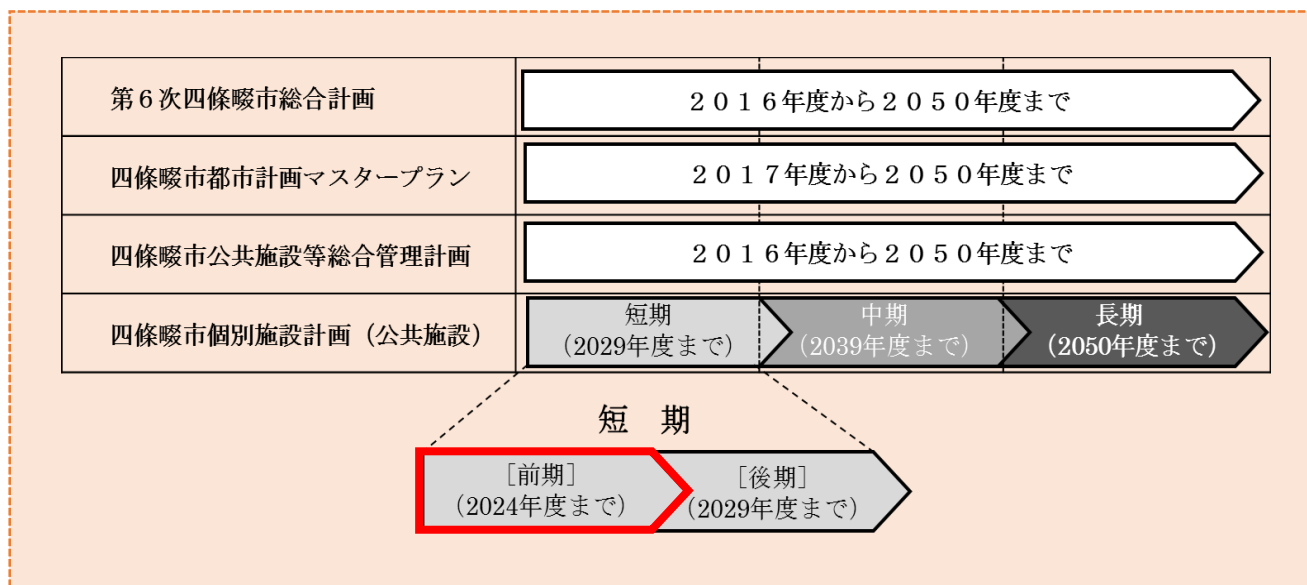
短期における公共施設の再編

(1) 非耐震施設の対策

旧耐震基準で建設した建築物系施設のうち、耐震性が確認されていない施設及び確保されていない施設は、耐震性が確保された施設へ移転することなどにより、安全性の確保を図ります。

(2) JR片町線以東・国道163号以南地域の防災機能の確保

四條畷市学校再編整備計画(平成30年11月策定)により、四條畷南中学校が平成31年3月末に廃校、四條畷東小学校が令和2年3月末に廃校となるため、JR片町線以東・国道163号以南地域において、防災機能の確保を図ります。



(1) 四條畷市個別施設計画【公共施設】

(令和2年1月策定/令和4年10月改訂)

魅力あるまちづくりの推進

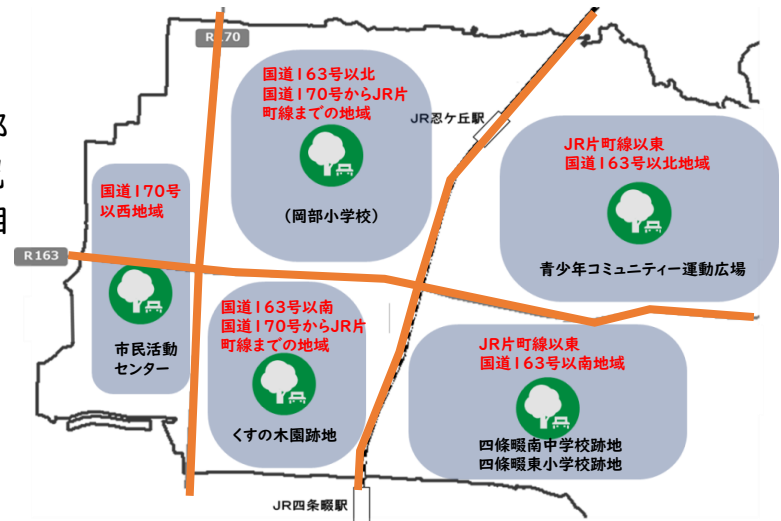
持続可能な行政運営を行っていくためには、将来を見据えて公共施設を最適な量へしていく一方で、以前にも増して、**市民が暮らしやすい、子育てしやすい環境の整備が必要**です。そのための環境整備を実行可能なところから、順次、実施していきます。

学校跡地におけるにぎわいの創出

四條畷南中学校跡地における防災機能の確保に合わせて、**公園を整備することで、地域のにぎわいを創出**します。

西部地域で身近に遊べる公園の拠点整備

本市の一人あたりの公園面積は、府内の平均より高いものの、西部地域に限った場合、一人あたりの公園面積が少なくなっている状況です。そのため、**一定の地域ごとに子ども達がボール遊びできる、自由に遊べる公園(広場を含む。)**を整備することにより、**子ども達が安全に遊べる空間を確保し、子育てしやすい環境整備を進めます。**



JR両駅前市有地の利活用策の検討

JR忍ヶ丘駅前及びJR四條畷駅前の市有地については、現在、民間事業者に土地を貸付けしているものの、今後においては、社会情勢や市民ニーズなどの変化を見極めつつ、駅前という好立地を活かし、**子育てや社会教育施策などの魅力あるまちづくりに資する取組を展開**する場所となるよう、検討を進めていきます。

(2) 関係計画との整合・連携

四條畷市公共施設等総合管理計画(平成28年12月策定/令和4年3月改訂)

公共施設等総合管理計画では、第6次四條畷市総合計画で掲げるまちの将来像を実現するために、四條畷市都市計画マスタープランなどをはじめ、関係計画と整合・連携を図るため、**3つの基本目標**を掲げています。

①世代間のコミュニティが繋がる魅力あるまちづくり

地域、利用者のニーズに鑑み、**公共施設の機能の集約化・複合化**を行い、サービス提供体制の強化を図ることで、**各世代の利用者が交流し、新たなコミュニティの形成**へと繋げることで、賑わいのある魅力あるまちづくりをめざします。

②災害に強い住みよいまちづくり

地域コミュニティの拠点である公共施設については、災害に強い都市基盤を形成するために**不燃化や耐震化**を進めるとともに、住民生活や産業を支える道路、公共交通などの交通基盤を充実し、良好な住環境の形成へと繋がるまちづくりをめざします。

③次世代に負担を先送りしない自立的なまちづくり

将来世代に負担を残さない健全な都市経営を行うとともに、住民ニーズの多様化、人口の減少や少子高齢化の進展による**社会情勢の変動に柔軟に対応できる自立的なまちづくり**をめざします。

(2) 関係計画との整合・連携

所掌 教育委員会

(参考) 四條畷市学校再編整備計画 (平成30年11月策定)

教育委員会が抱える3つの課題を解消すべく、平成27年3月に教育環境整備計画を策定のもと、学校再編と施設整備を進めてきましたが、平成29年1月の東市長就任を機に、改めて庁内外問わず、様々な議論を経て、教育環境整備計画から学校再編部分を切り出し、学校再編整備計画として平成30年11月に策定。

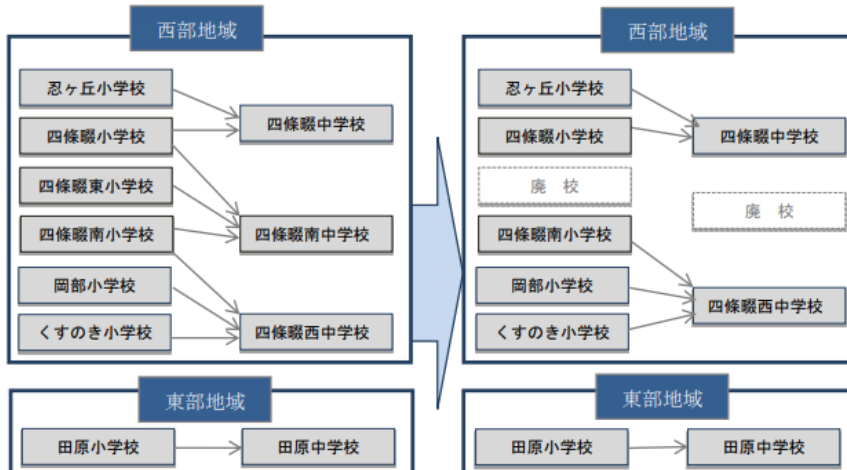
3つの課題

- ① 少子化に伴う学校規模の適正化
- ② 同一小学校からの進学先の相違(校区のねじれ)
- ③ 校舎の老朽化

教育委員会からの具申

南中学校の廃校に伴い、学校が担ってきた役割を踏まえ、隣接する教育文化センター及び南中学校の土砂災害警戒区域を除く敷地に、防災拠点となるコミュニティ施設等の設置を市長あて具申

市域全体の適正配置



●平成31年1月 臨時議会

議案第31号

四條畷市立学校に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(議案概要)

本条例は、学校再編整備計画に準じ、平成32(令和2)年4月1日から四條畷市立四條畷東小学校を、31年4月1日から四條畷市立四條畷南中学校を廃校とする。

(審議結果)

賛成多数により原案を可決。

(3) 四條畷市公共施設再編検討会からの提言

報告書の提言において、**15施設全体の再編に関する提言**と、**各施設の再編に関する提言**をいただいています。

1. 全体再編について

- ① アクセス面、耐震性の有無、設備の状況などを踏まえ、規模や配置を検討していくうえで、機能集約だけでなく、**機能分散していく視点も検討**されたい。
- ② 全体再編により利便性が低下する場合などにおいては、コンビニ等を活用し機能を地域に分散するなどして、課題を解消していくことも一つの方法であり、**民間を活用する視点も検討**されたい。
- ③ 再編整備について、中長期的な視点で進めていくことから、**新たな機能の整備に係る視点も検討**されたい。
- ④ 各施設の具体的な**規模や整備内容については、全体再編を進める中で検討**されたい。
- ⑤ 喫緊の課題を解消していくため、**検討結果を迅速に実現していく視点やソフト面の視点、将来世代に継続して使用できるコンテンツの創出などの視点も検討**されたい。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症の対応や人口減少社会の到来などを経て、様々な価値観が転換しようとしている。**今後の社会の変革を見据え、将来の負担を軽減しつつも、市民サービスの維持・向上が図られるよう検討**されたい。
- ⑦ 全体再編に係る**整備の順番や優先順位に関しては、様々な論点があることから、本報告書を踏まえて全体再編を検討していく中で、詳細を検討**されたい。

15施設の今後のあり方については、全体再編における提言内容も踏まえながら、調査・研究を進めてまいりたいと考えます。

2. 各施設の再編に関する提言

各施設の再編に関する提言は多岐にわたることから、参考資料に提言内容を掲載しています。

報告書の提言内容をもとにした配置図

凡例

用地の名称

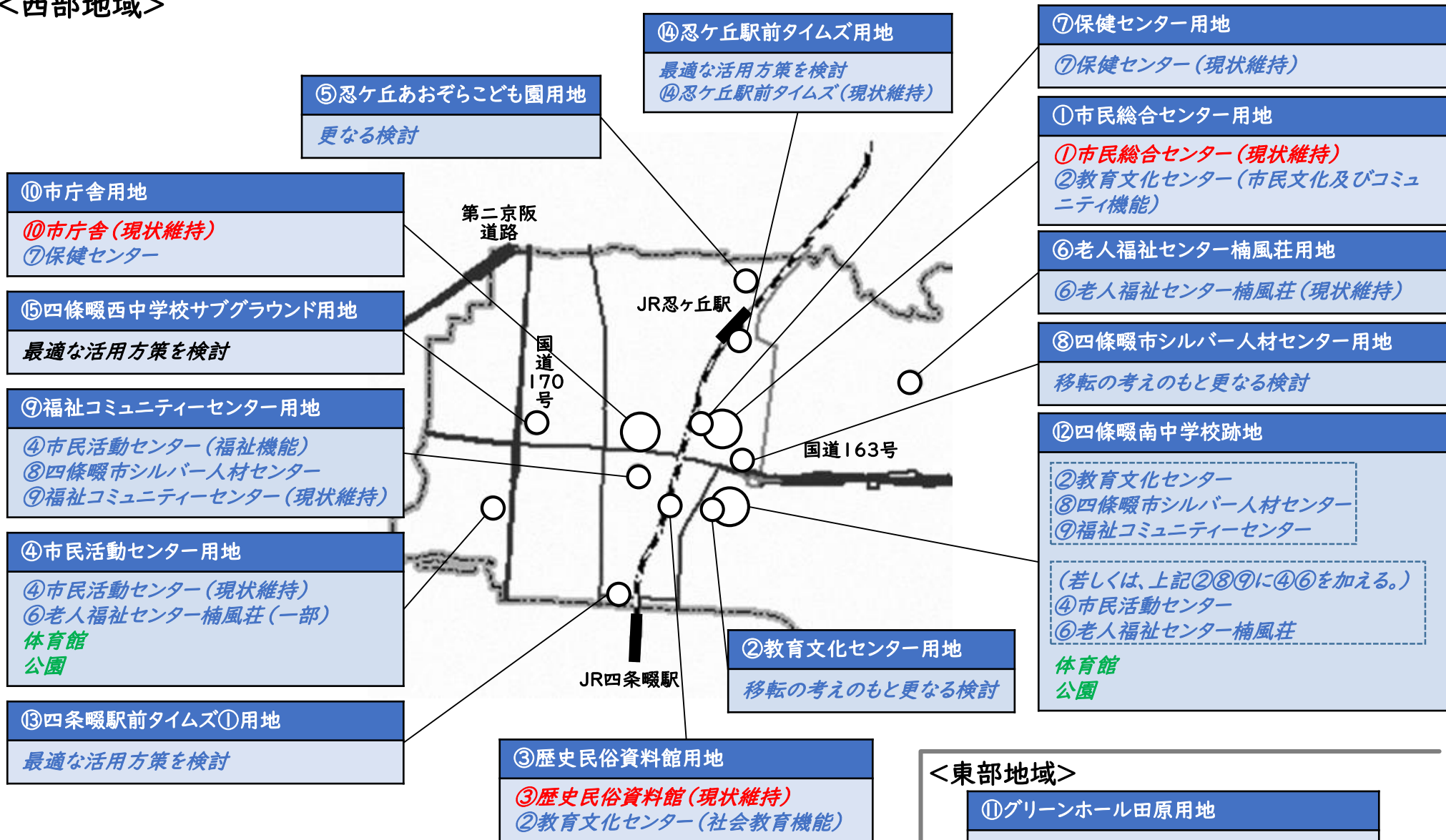
配置機能

緑字：個別施設計画に記載している機能

赤字：再編検討会において意見が一致した機能

青字：再編検討会で様々な意見があった機能

<西部地域>



<東部地域>

- ⑪グリーンホール田原用地
- ⑪グリーンホール田原

3. 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて

1. 今後のスケジュールについて

現在の計画改訂スケジュールでは、12月にパブリックコメントの実施を予定していますが、特別委員会における調査・研究期間を確保していくため、計画改訂スケジュールの見直しを行いましたので、委員各位のご意見等をお聞かせください。

(当初) Step② 継続検討とした15施設の今後のあり方

調査研究の期間

No.	事項	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1	特別委員会																																	
2	パブリックコメント																																	
3	議決																																	
4	計画改訂																																	



(変更後) Step② 継続検討とした15施設の今後のあり方(案)

調査研究の期間

No.	事項	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1	特別委員会																																	
2	パブリックコメント																																	
3	議決																																	
4	計画改訂																																	

(注1) 調査・研究の進展状況に応じて、パブリックコメント以降の事項が対応できるよう、期間に幅を持たせる内容としました。

今後のスケジュールについて

2. 資料請求について

本日の議論を踏まえて、今後の特別委員会に向けて、必要な資料等について確認いたします。

- 調査・研究にあたって必要な資料の請求があれば、ご意見をお願いします。
- 現時点の資料請求情報は右のリンク先からご確認ください。

[26ページに進む](#)

- ・PCはクリック
- ・タブレットは長押し

3. 次回の特別委員会の開催について

令和4年12月9日（金） ・議運終了後、開催。

(参考資料)

- (1) 各施設の再編に関する提言(公共施設再編検討会)
- (2) 検討対象施設の諸元情報一覧
- (3) 資料請求一覧

(1) 各施設の再編に関する提言（公共施設再編検討会）

2. 検討対象施設について

『配置』『取組の手法』の視点から、各施設における今後のあり方を提言します。

項 目		内 容
配置	維持	現在の位置で施設の機能を継続する。
	移転 ^{※1}	現状の位置から他の場所に変えて、施設の機能を継続する。
	検討	全体再編の検討の中で、維持または移転を検討。
取組の 手法	維持	現在の施設の維持管理（建替含む）を継続する。
	複合化 ^{※2}	既存の異なる機能を一つの施設に統合する。
	集約化 ^{※2}	既存の同種または類似の機能を一つの施設に集約する。
	転用	既存の施設を改修し、他の施設として利用する。
	検討	全体再編の提言を踏まえ検討。

※1 具体の移転先は、各施設における提言内容を踏まえて検討されたい。

※2 複合化及び集約化には、既存の公共施設を改修する手法と建替（再整備）の手法があり、

今後の再編整備を検討する中で最適な手法を検討されたい。

※3 配置のうち、施設の機能を有していない場合は、斜線を引いている。

(1) 各施設の再編に関する提言（公共施設再編検討会）

（凡例）

赤字：再編検討会において意見が一致した機能 **青字**：再編検討会で様々な意見があった機能

① 市民総合センター

配置	取組の手法
維持	維持、複合化

- 現在有している施設機能の配置先は、**現在の立地に配置することが望ましい**。その理由として、個別施設計画に西部地域の中央部に配置していくことを位置付けており、当該施設は文化活動等の拠点施設として、その役割を担っていくことから、アクセスの良い場所に配置することにより、市民等の利便性を高めていくことが重要と考えます。当該敷地は、一定の面積を保有しており、かつ西部地域の中央部に位置し、身近なところにJR忍ヶ丘駅やバス停があり、前面道路の幅員や、国道からのアクセスも容易なことから、利便性が高いと考えます。
- 市民ホールの規模に関しては、**現状維持**または**大ホールと小ホールの整備**といった意見があった一方で、**現状のホールの規模は中途半端で使いづらい、アフターコロナを見据えると大規模なホールが求められるだろうか**、といった意見があったことから、更なる検討をされたい。

② 教育文化センター

配置	取組の手法
移転	複合化、集約化

- 多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から、親和性のある機能と統合し、**四條畷南中学校跡地へ機能を移転**させるという複数意見があった一方で、**社会教育機能を歴史民俗資料館へ移転、市民文化及びコミュニティ機能を市民総合センターへ移転**することにより、機能の充実性が図れるとの意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

(1) 各施設の再編に関する提言（公共施設再編検討会）

（凡例）

赤字：再編検討会において意見が一致した機能 **青字**：再編検討会で様々な意見があった機能

③ 歴史民俗資料館

配置	取組の手法
維持	維持、集約化

- 現在有している施設機能の配置先は、**現在の立地に配置することが望ましい**。その理由として、当該施設は、国の登録有形文化財である土蔵とともに整備され、東高野街道に接しているなど、歴史に触れる機会を有しており、これらを一体的に活用していくことが重要と考えます。
- 現在の立地は、周辺道路が狭いなど、アクセス面に課題があることから、来館者を増やすため、SNSなどを活用して情報発信するなどして、豊富な歴史的コンテンツを効果的に活用していくソフト面での取組を検討されたい。

④ 市民活動センター（体育館および貸部屋の機能を除く）

配置	取組の手法
検討	維持、複合化、集約化

- 国道170号以西の地域は公共施設が少ないことから、**現状配置で維持する意見**、**福祉機能を福祉コミュニティーセンターに集約して拠点施設を整備する意見**、多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から、**親和性のある機能を統合して、四條畷南中学校跡地へ機能を移転させる意見**があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

(1) 各施設の再編に関する提言（公共施設再編検討会）

（凡例）

赤字：再編検討会において意見が一致した機能 **青字**：再編検討会で様々な意見があった機能

⑤ 忍ヶ丘あおぞらこども園

配置	取組の手法
検討	検討

- **市の中心部や駅前に配置**する意見、**子育てのニーズが高まる地域を予測して配置**する意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

⑥ 老人福祉センター楠風荘

配置	取組の手法
検討	維持、複合化

- 現状配置で維持しつつ、災害時における機能分散の観点から**機能の一部を市民活動センター敷地に移転**させる意見、多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から**四條畷南中学校跡地へ機能を移転**させる意見、**現状配置以外の場所に配置**という意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。
- 高齢者が中心に利用する施設のため、交通アクセスに充分配慮されたい。

(1) 各施設の再編に関する提言（公共施設再編検討会）

（凡例）

赤字：再編検討会において意見が一致した機能 **青字**：再編検討会で様々な意見があった機能

⑦ 保 健 セ ン タ ー

配置	取組の手法
検討	維持、複合化

- 市庁舎機能と統合することによる利便性向上の観点から**市庁舎に機能移転**させる複数意見や、**現状配置で維持**との意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

⑧ 四條畷市シルバー人材センター

配置	取組の手法
移転	複合化、集約化

- 多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から**四條畷南中学校跡地へ機能を移転**させる複数意見や、**福祉機能を福祉コミュニティセンターに集約して拠点施設を整備**する意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

(1) 各施設の再編に関する提言（公共施設再編検討会）

（凡例）

赤字：再編検討会において意見が一致した機能 **青字**：再編検討会で様々な意見があった機能

⑨ 福祉コミュニティセンター

配置	取組の手法
検討	複合化、集約化

- 多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から**四條畷南中学校跡地へ機能を移転**させる複数意見や、福祉機能を当該敷地に集約して拠点施設を整備するため**現状維持**との意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

⑩ 市庁舎

配置	取組の手法
維持	維持、複合化

- 現在有している施設機能の配置先は、**現在の立地に配置することが望ましい**。その理由として、当該施設は行政サービスの中核となる施設であり、西部地域の中央部に配置することを個別施設計画に位置付けており、その観点に立ち、国道からのアクセスが容易であり、一定の面積を有し、西部地域の中央部に位置する現在の立地に配置することが、最適であると考えます。
- 市庁舎敷地の再整備にあたっては、現状で不足している駐車場や公園を確保するため**高層化する意見**や、**再編整備の着手は市庁舎から行っていくなどの意見**があったことから、全体再編を俯瞰して、検討されたい。

(1) 各施設の再編に関する提言（公共施設再編検討会）

（凡例）

赤字：再編検討会において意見が一致した機能 **青字**：再編検討会で様々な意見があった機能

⑪ グリーンホール田原

配置	取組の手法
維持	検討

- 個別施設計画に**現状維持**と示されていることから、ソフト面の取組として、情報インフラの整備を含め、スマートシティなどの**先進的な取組み進展させていく意見**、**若い世代が集まれるようなジム等の機能整備の意見**、**災害発生時の市役所サブ機能を担っていく意見**などあったことから、全体再編を俯瞰して、更なる検討をされたい。

⑫ 四條畷南中学校跡地

配置	取組の手法
	複合化、転用

- これまで学校施設が担ってきた災害発生時の避難所機能は周辺地域の実情を踏まえ維持していくとともに、校舎棟については、費用対効果を検証のうえ、利活用を検討されたい。
- 当該敷地に集約する機能は、**教育文化センター、四條畷市シルバー人材センター及び福祉コミュニティセンターを集約する複数意見**や、**これに市民活動センター及び老人福祉センター楠風荘を加える意見**があったことから、集約する機能については、更なる検討をされたい。

(1) 各施設の再編に関する提言（公共施設再編検討会）

（凡例）

赤字：再編検討会において意見が一致した機能 **青字**：再編検討会で様々な意見があった機能

⑬ 四条畷駅前タイムズ①

配置	取組の手法
	検討

- 駅前という特性から、民間活用、公園・広場、高齢福祉・子育て支援施設の整備など、幅広い活用が可能なことから、全体再編を進めるうえで、最適な活用方策を検討されたい。

⑭ 忍ヶ丘駅前タイムズ

配置	取組の手法
	検討

- 駅前という特性から、**民間活用、公園・広場、高齢福祉・子育て支援施設の整備など、幅広く活用していく意見**があった一方で、**現状の機能を維持**していく意見もあったことから、全体再編を進めるうえで、最適な活用方策を検討されたい。

⑮ 四條畷西中学校サブグラウンド

配置	取組の手法
	検討

- **民間活用、公園・広場、スポーツ関係施設など、幅広く活用していく意見**があった一方で、**現状の機能を維持**していく意見もあったことから、全体再編を進めるうえで、最適な活用方策を検討されたい。

(2) 検討対象施設の諸元一覧

凡例 非耐震施設(旧耐震基準の建築物のうち、耐震化未実施の施設又は耐震性が確認できていない施設。)

No.	施設名	年度	経過 年数	敷地面積 (㎡)	建物総延 床面積(㎡)	用途地域	建ぺい率 (%)	容積率 (%)
1	市民総合センター	1981	41	8,672.33	5,011.13	第二種住居地域	60	200
2	教育文化センター	1974	48	1,557.22	743.29	第一種中高層住居専用地域	60	200
3	歴史民俗資料館	1985	37	1,365.28	492.08	第一種住居地域	60	200
4	市民活動センター	1978	44	7,240.00	5,550.55	第一種中高層住居専用地域	60	200
5	忍ヶ丘あおぞらこども園	1971	51	3,564.00	1,350.55	第一種住居地域	60	200
6	老人福祉センター楠風荘	1975	47	1,395.75	794.33	第一種低層住居専用地域	50	100
7	保健センター	1985	37	1,278.43	1,272.60	第二種住居地域	60	200
8	四條畷市シルバー人材センター	1969	53	1,335.55	768.05	第一種中高層住居専用地域	60	200
9	福祉コミュニティーセンター	1975	47	647.00	765.60	第一種中高層住居専用地域	60	200
10	市庁舎	1964	58	7,048.12	5,800.74	第二種住居地域	60	200
11	グリーンホール田原	1992	30	2,574.40	4,310.90	市街化調整区域	60	200
12	四條畷南中学校跡地	1972	50	20,323.00	8,392.00	第一種中高層住居専用地域	60	200
13	四條畷駅前タイムズ①	-	-	1,913.13	-	近隣商業地域	80	300
14	忍ヶ丘駅前タイムズ	-	-	1,013.58	-	近隣商業地域	80	300
15	四條畷西中学校サブグラウンド	-	-	1,248.37	-	準工業地域	60	200

(3) 資料請求一覧

その他資料請求等(令和4年6月17日請求内容)

- ① 四條畷南中学校跡地校舎棟を転用した場合の改修費用及び財源の内訳[森本委員]
- ② 公共施設再編検討会報告書の提言内容をもとにした公共施設再編案及び将来更新費用[渡辺委員]

[15ページに戻る](#)